

## 阪神港海上コンテナ協会 理事会

### ターミナル渋滞対策など協議

【阪神】阪神港海上コンテナ協会（山口与嗣雄会長）は15日、神戸市東灘区の「六甲ファッショントマート」で理事会を開き、ワッペン（共用海コン部会・協会）用海コン部会・協会）発注と費用やターミナル渋滞対策などをについて協議した。

ワッペンの発注については、兵庫県在庫がわざかになつたことから、500枚をうち今回、500枚を

開き、ワッペン（共用海コン部会・協会）用海コン部会・協会）発注と費用やターミナル渋滞対策などを

ついて協議した。

ターミナル渋滞対策では、昨年に業務委託を行つて使用した2台車ベースの宣伝カーを購入し、ターミナルの渋滞状況をビデオカメラで録画し、さらに渋滞ターミナルなどの周辺で滞留に関して

の発注を行うこととした。費用について

同協会が4分の2を負担し、残り4分の2を両部会で負担す

る。

ターミナル渋滞対策では、昨年に業務委託を行つて使用した2台車ベースの宣伝カーを購入し、ターミナルの渋滞状況をビデオカメラで録画し、さらに渋滞ターミナルなどの周辺で滞留に関して

の既存の看板を取り付けて渋滞解消を訴

えていく。行政の対策は期待できず、渋滞による待機は労働時間の長時間化に大きく影響することが

きる。

の既存の看板を取り付けて渋滞解消を訴

えていく。行政の対策は期待できず、渋滞による待機は労働

時間の長時間化に大きくなる。

その他の報告では、同協会ホームページ

ページ閲覧回数が今

年9月27日に調査したところ1日平均1

50回を超えるなど台風被

15日から同月28日ま

での平均は260回

を超えるなど台風被

1か月間実施することを、今月16

日に全会員にアクセスする。また、

大都市港湾局との面談などの活動

については、兵庫県在庫がわざかになつたことから、500枚をうち今回、500枚を

大都市港湾局との面談などの活動

報告も行われた。

害の状況やターミナルオープencloseの状況確認で活用されているものと予想され、10月以来はさらに閲覧数が極端に増加するなどの成果を上げたようだ。

また、渋滞調査については、今年12月の繁忙期の



(佐藤弘行)